



スマートプラチナ社会 について

図は県都デザイン戦略より引用



福井いきいき会 佐藤紘一

2017.3.30

話の内容

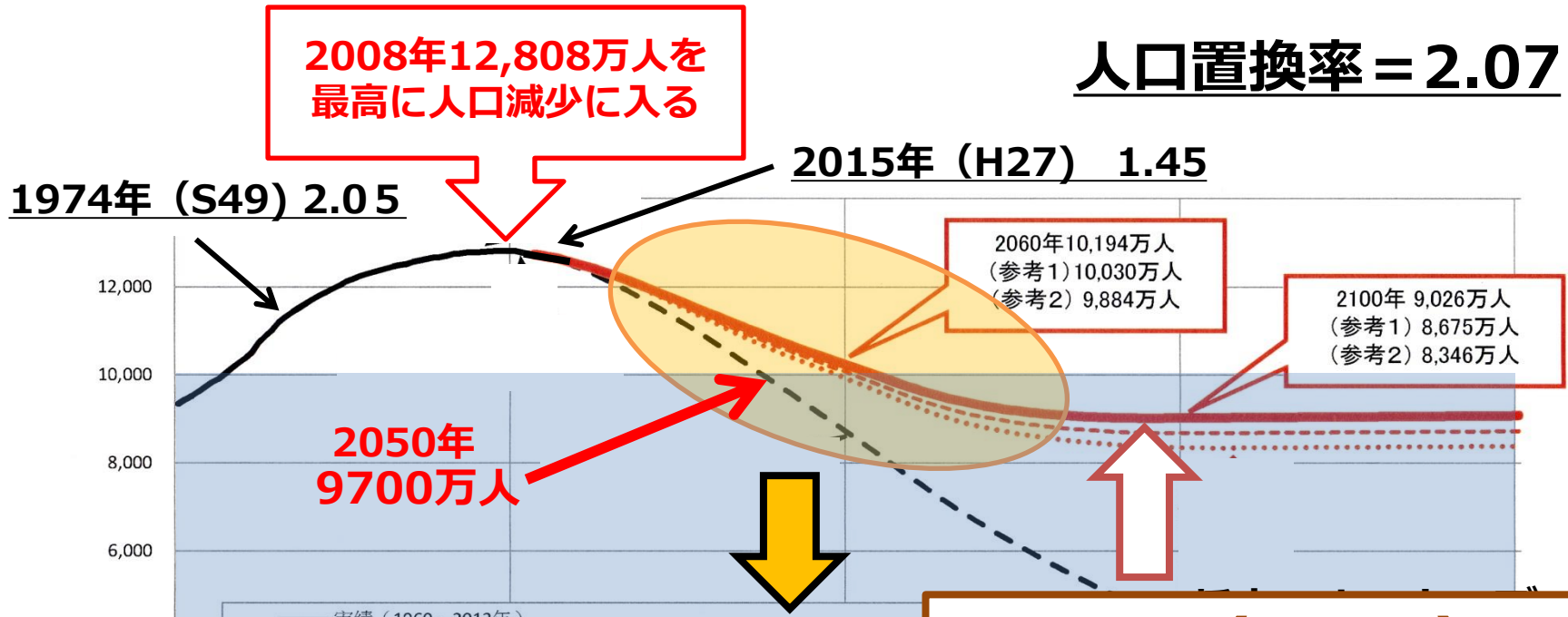
- 1 スマートプラチナ社会について
 - ・ SP社会構築の背景
 - ・ 高齢者、主婦が就労する社会
 - ・ ICTを使い柔軟に就労する社会

- 2 スマートプラチナ社会に対する福井いきいき会の活動提案



スマートプラチナ社会構築の背景

人口置換率 = 2.07



H26.7 (2014)
スマートプラチナ社会
(ICT超高齢社会)

H28.6 (2016)
一億総活躍社会実現

- ・ 2030年出生率1.8
- ・ 2040年 " 2.07

(注2)「合計特殊出生率が上昇した場合」は、経済財政諮問会議専門調査会「選択する未来」委員会における人口の(2020年には1.6程度)となった場合について、まち・ひと・しごと創生本部事務局において推計を行ったものである



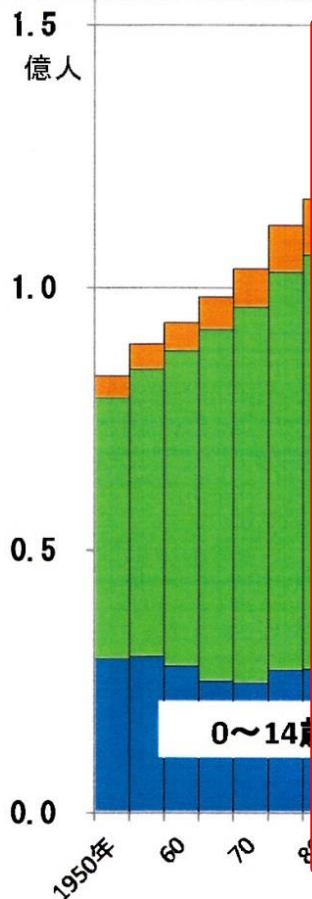
少子高齢化に伴う課題

1. 生産年齢人口の減少
2. 高齢者増加による医療費の増大
3. コミュニティ意識希薄化



課題 1 生産年齢人口の減少

我が国の総人口の推移



2050年の人口構成予測



経済力低下

財政悪化

**国民生活
水準低下**

	2012年	2050年
総人口	12,662万	9,708万
生産年齢人口の割合	5万	3,768万 (総人口の38.8%)
高齢者の割合	3万	5,001万 (51.5%)
平均寿命	81.95歳 83.68歳	男性83.55歳 女性90.29歳

死亡中位に基づく推計データ。

日本の将来人口推計」

(平成24年1月推計) 2012年

出典: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計」(平成24年1月推計)

2014年 総人口1億2708万、高齢者3300万、生産年齢7785万、比率1/2.4



課題 1 生産年齢人口の減少



負担が重くて支え切れないよ!!

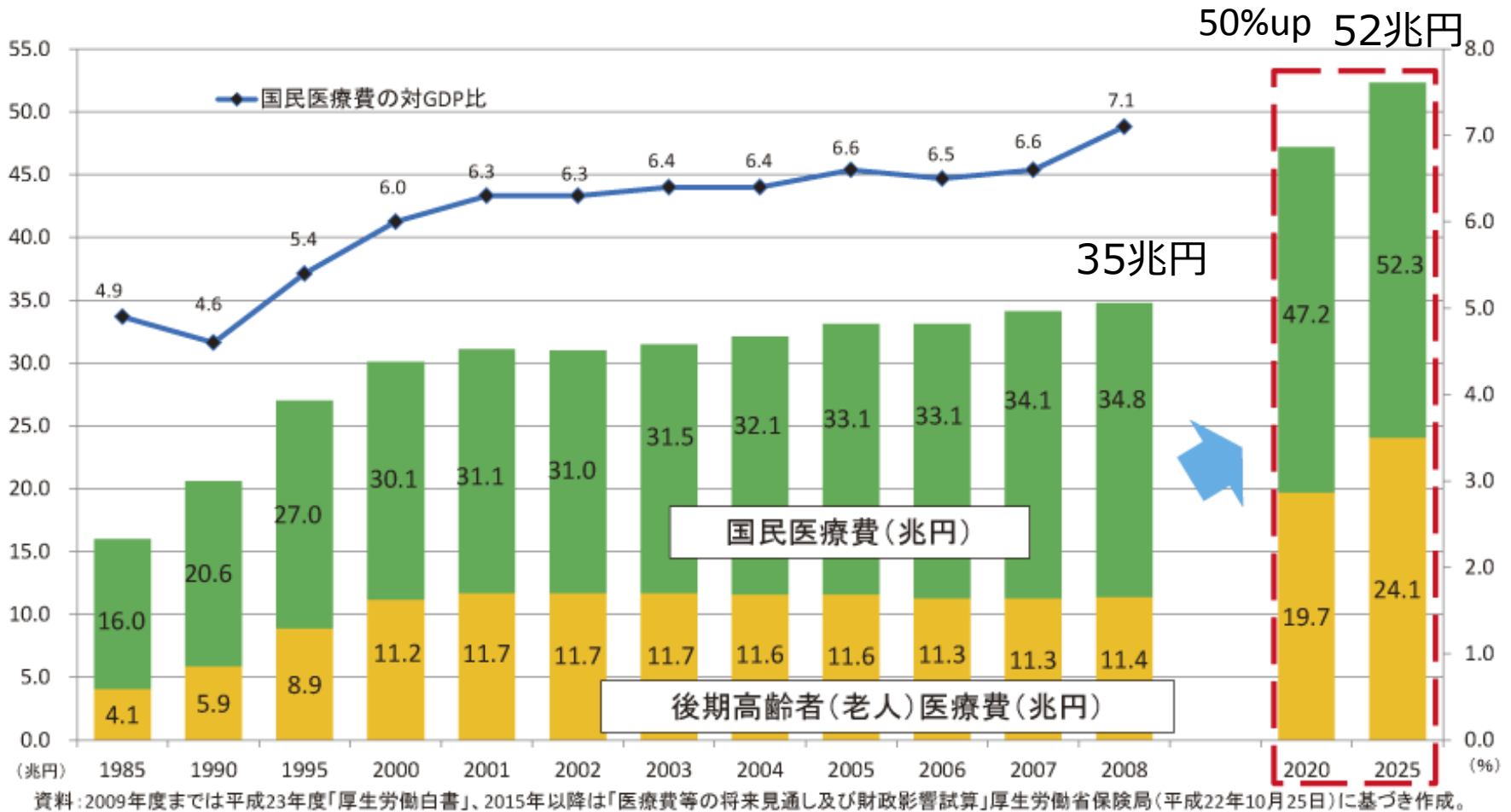
現役世代の生活水準が低下し経済・社会活力が阻害し深刻な状況に陥る

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計」(平成24年1月推計)

2014年 総人口1億2708万、高齢者3300万、生産年齢7785万、比率1/2.4



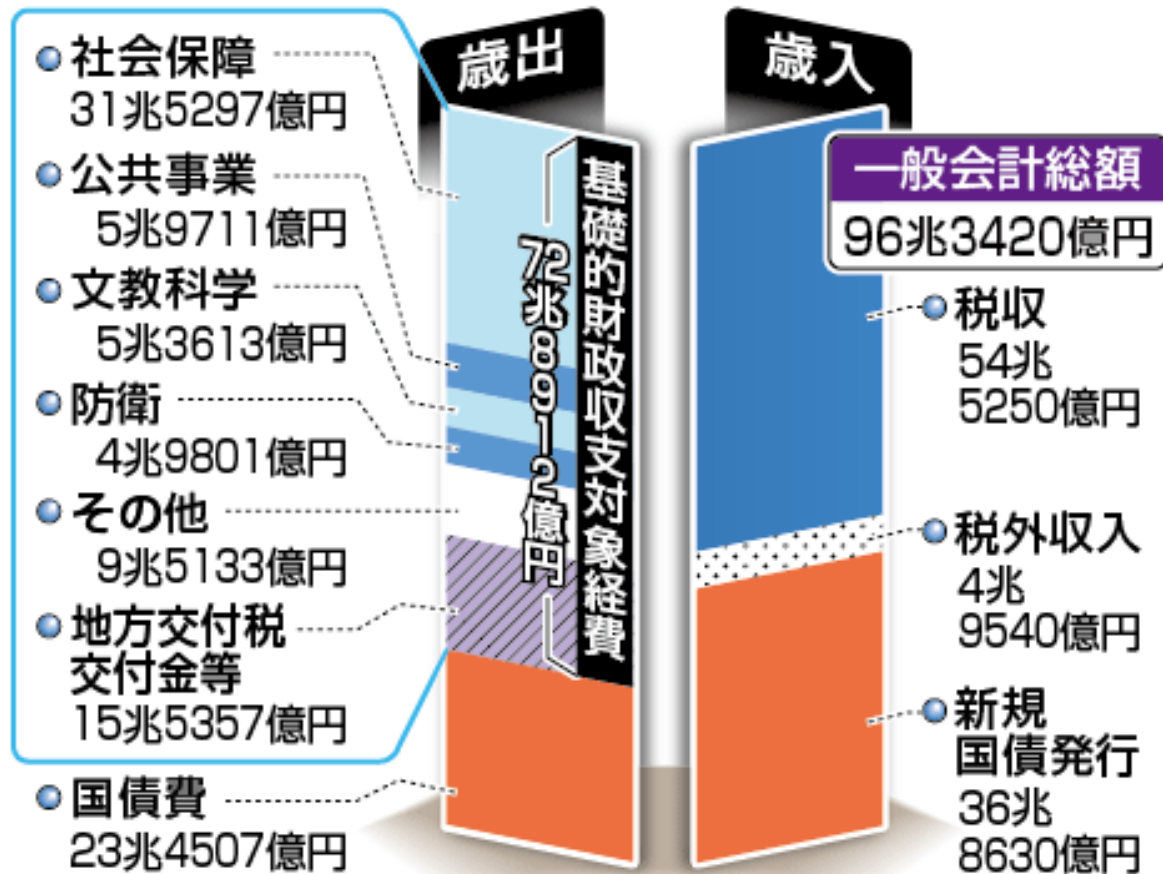
課題 2 医療費の増大



(出所) 厚生労働白書 (平成24年)、厚労省 医療費等の将来見通し及び財政影響試算 (平成22年10月)



2015年度予算案の構成



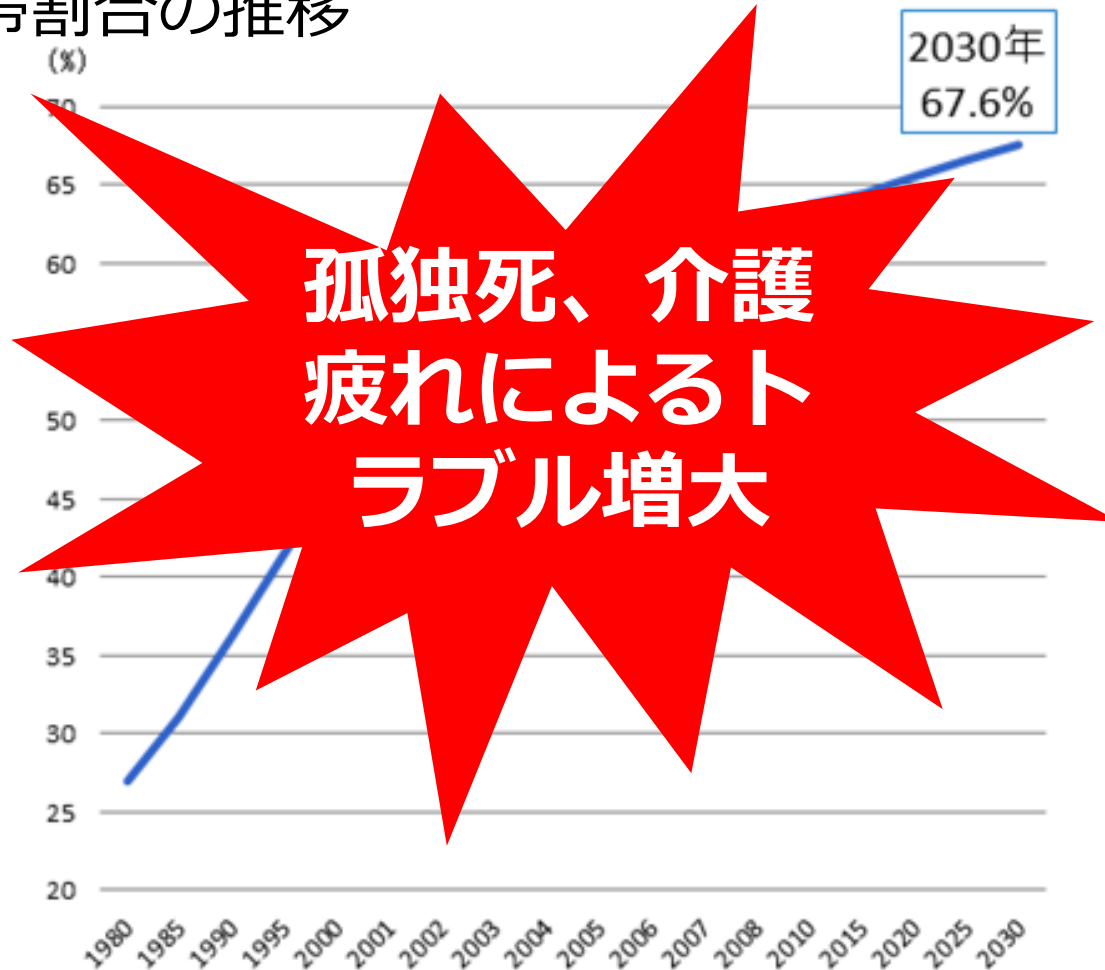
(注)四捨五入の関係で総額と一致しない

社会保障増で過去最大 = 総額 9 6 兆 3 4 2 0 億円



課題3 コミュニティ意識の希薄化

世帯主65才以上の世帯における高齢者単独+夫婦のみ世帯割合の推移



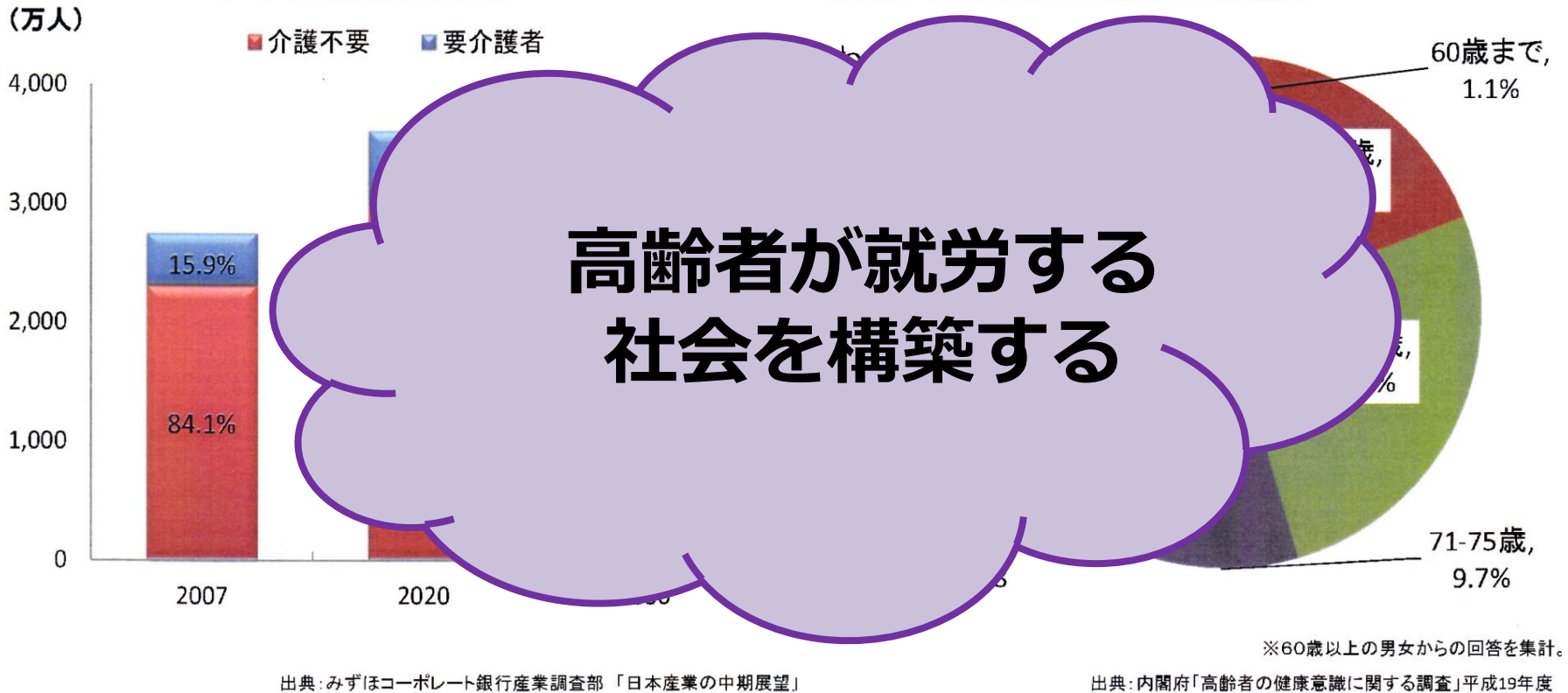
(出所) 総務省 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所 日本の世帯数の将来推計 (平成20年3月推計)



高齢者の社会参加意欲

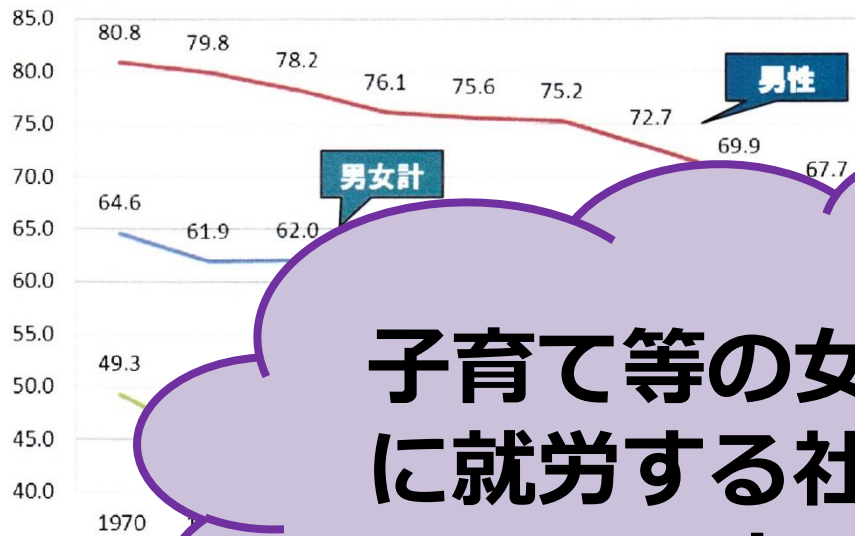
高齢者における要介護者の推計

退職希望年齢に関する調査結果



日本の就業率の推移 と 現在の女性の年齢別就業率

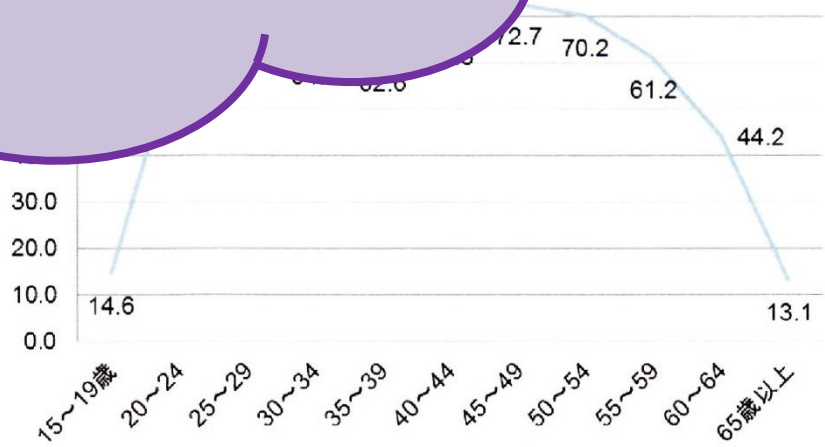
＜日本の就業率の推移(15歳以上)＞



日本の女性の就業及び社会参加の促進に向けては、1985年の「男女雇用機会均等法」を契機として、社会全体で取り組んでいく必要がある。一方で、高齢者の就業率も低下傾向にある。

子育て等の女性が柔軟に就労する社会を構築する

日本の女性の就業率はOECD諸国に比べて相対的に低い(OECD平均は約75%)。30歳代の低さ(結婚・出産に伴う雇離れ等を背景に)が課題となっているが近年は改善傾向にある。

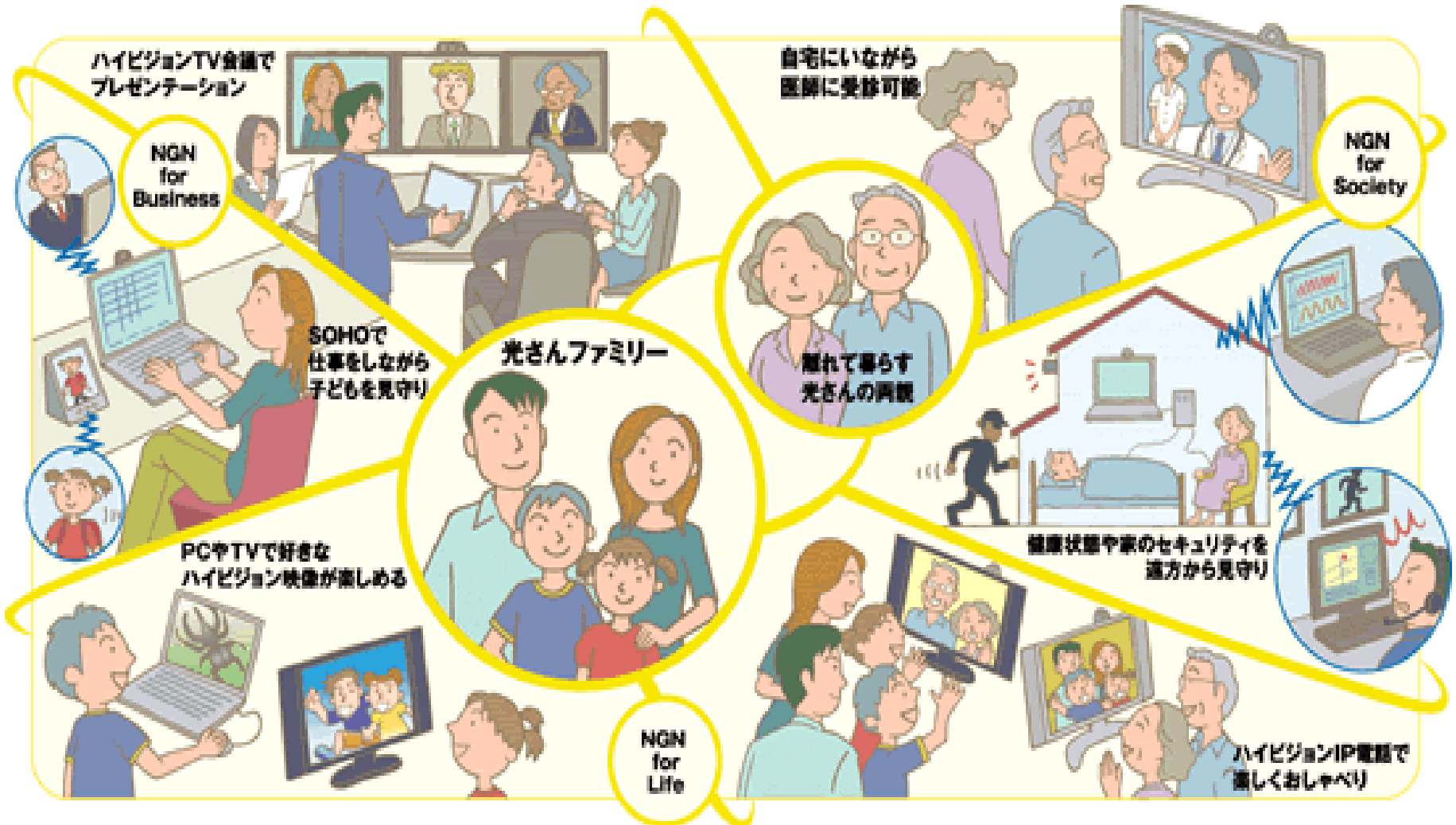


資料：総務省「労働力調査(長期時系列データ)」

スマートプラチナ社会 (ICT超高齢社会の実現)

平成26年7月

ICT (情報通信技術)



「スマートプラチナ社会」の実現

- ICTで創る安心・元気なくらし -

1

H26.7

Mission - ミッション

● 「スマートプラチナ社会※」の実現！
- ICTで創る安心・元気なくらし -

※「シルバー」を越えて、全ての世代がイノベーションの恩恵を受け、いきいきと活動できる超高齢社会

Vision - ビジョン

- I. 健康を長く維持して自立的に暮らす
- II. 生きがいをもって働き、社会参加する
- III. 新産業創出とグローバル展開

課題

- ◆労働人口の減少
- ◆医療費の増大
- ◆コミュニティ意識の希薄化

取組の方向性

- ◆「予防」による健康寿命の延伸
- ◆高齢者の知恵や経験を活用
- ◆「スマートプラチナ産業」の創出

「スマートプラチナ社会」の実現に向けて(社会実装加速モデル)

- スマートプラチナ社会の実現を早期かつ着実に図るべく、スマートプラチナ社会の実装を加速させるモデル(社会実装加速モデル)を推進

ビジョンⅠ

健康を長く維持して自立(自律)的に暮らす

°Dシ°I外① ICT健康モデル(予防)の確立

生活習慣病の発症・重症化を予防するためのヘルスケアを用いた大規模社会実証を行い、ICT健康モデルを確立する

°Dシ°I外② 医療・介護情報連携基盤の全国展開

高品質で廉価な医療を実現するため、医療機関等の情報連携のモデル実証を行い、医療情報連携基盤の全国展開を推進する

°Dシ°I外③ 「ライフサポートビジネス」の創出

ビジョンⅡ

生きがいをもって働き、社会参加する

°Dシ°I外④ ICTリテラシーの向上

高齢者がICTを使用してコミュニティで活動できる社会環境を実現するための実証を行い、ICTリテラシーの向上を推進する

°Dシ°I外⑤ 新たなワークスタイルの実現

多様で柔軟な働き方の確立・普及に向けた実証を行い、新たなワークスタイル(テレワーク)を実現する

°Dシ°I外⑥ ロボット×ICTの開発・実用化

ビジョンⅢ

超高齢社会に対応した新産業創出とグローバル展開

°Dシ°I外⑦ 「スマートプラチナ産業」の創出

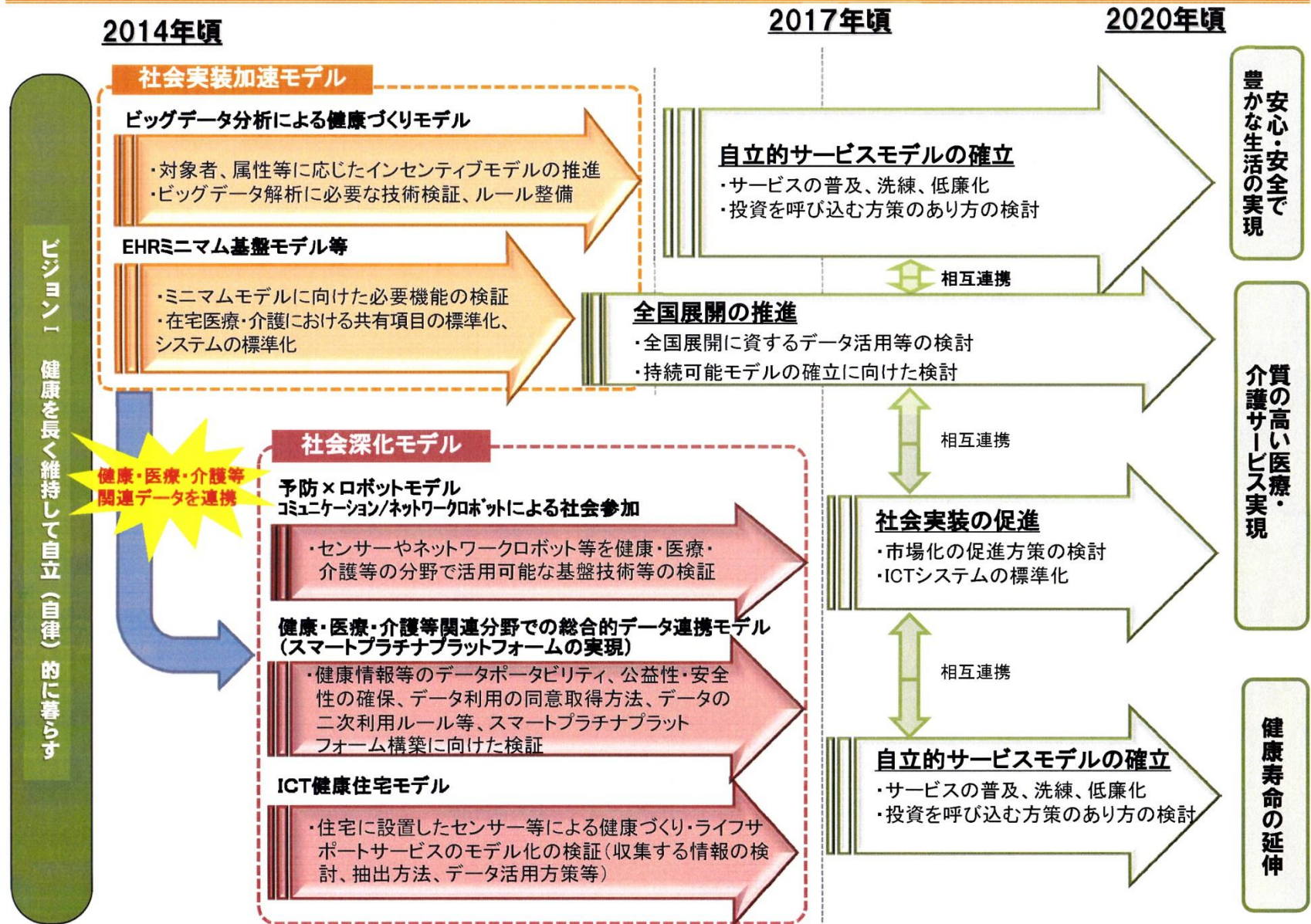
°Dシ°I外⑧ グローバル展開と国際連携

社会実装加速モデル⑤

欧米、ASEAN等との国際連携

- ・ 日EU・ICT政策対話を踏まえ、EUと国際連携
- ・ 医療等の分野におけるICTシステム・サービスの海外展開に向けた調査・検証

実証試験 「スマートプラチナ社会」の実現に向けたロードマップ(1)



実証試験

プロジェクト①

ICT健康モデル(国保)

1. 地域の課題



3. 主な成果

✓

生活習慣病の発症 重症化予防

✓

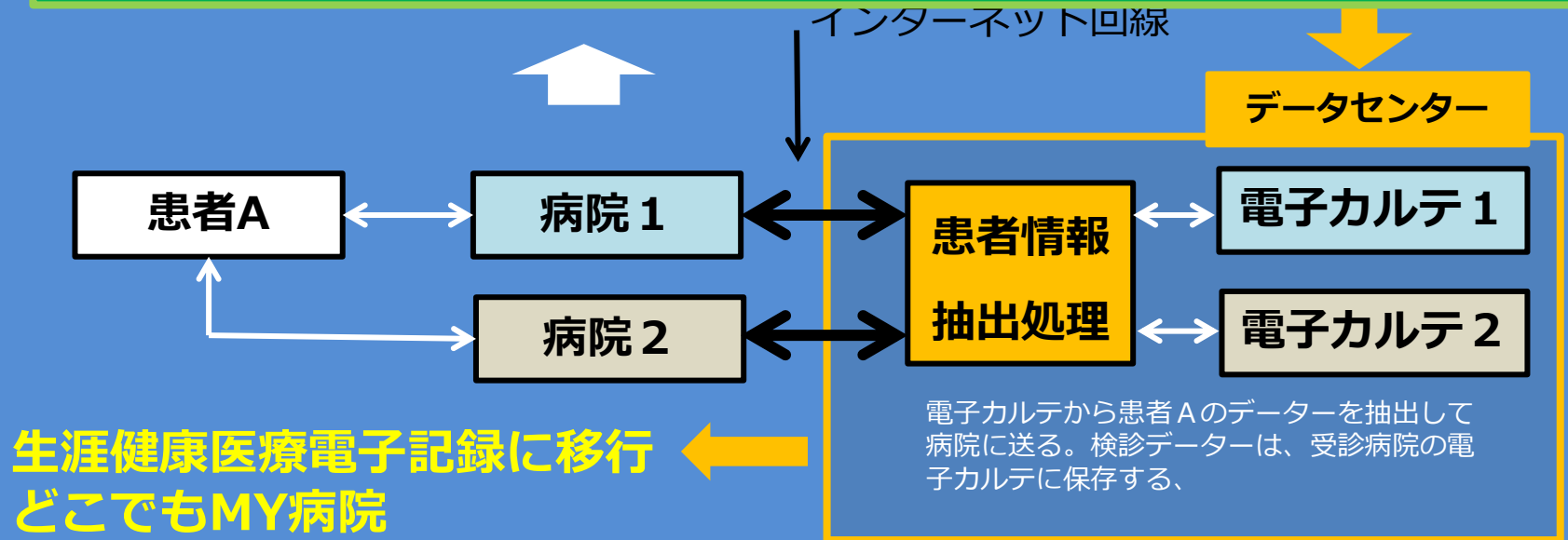
Ⅲ

医療情報連携基盤の全国展開

プロジェクト②

総合メディカルゾーン本部

医療品質の向上 医療費の低減



「スマートプラチナ社会」の実現に向けて(社会実装加速モデル)

- スマートプラチナ社会の実現を早期かつ着実に図るべく、スマートプラチナ社会の実装を加速させるモデル(社会実装加速モデル)を推進

医療費の低減

ビジョンⅠ

健康を長く維持して自立(自律)的に暮らす

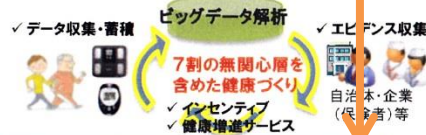
ポイント① ICT健康モデル(予防)の確立

社会実装加速モデル① ビッグデータ解析による健康づくりモデル

- 健康情報とレセプトデータ、特定健診データ等を組合せたビッグデータ解析やインセンティブにより、7割の無関心層も含めた健康づくりモデルを検証。

【想定モデル】

- ✓ 地方型地域活性化モデル
- ✓ 転職・退職継続健康モデル
- ✓ 都市型民間サービス活用モデル
- ✓ ご家族健康モデル



ポイント② 医療・介護情報連携基盤の全国展開

社会実装加速モデル② EHRミニマム基盤モデル等

- 在宅医療・介護において、より多くの関係者が参加できるよう中小の診療所も導入しやすいクラウドを活用した低廉モデルを検証し、在宅医療・介護における共有情報を標準化。



ポイント③ 「ライフサポートビジネス」の創出

ビジョンⅡ

ポイント④

社会実装加速モデル④

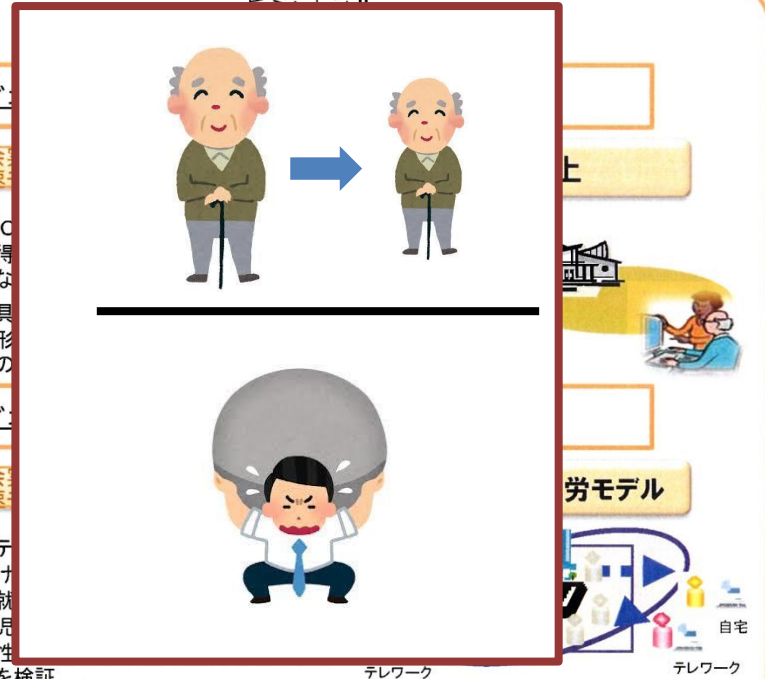
- IC
得な
具
形
の

ポイント⑤

社会実装加速モデル⑤

- テ
け
就
見
性
を
検
証。

ポイント⑥ ロボット×ICTの開発・実用化



ビジョンⅢ

超高齢社会に対応した新産業創出とグローバル展開

ポイント⑦ 「スマートプラチナ産業」の創出

ポイント⑧ グローバル展開と国際連携

社会実装加速モデル⑧

欧米、ASEAN等
との国際連携

- 日EU・ICT政策対話を踏まえ、EUと国際連携
- 医療等の分野におけるICTシステム・サービスの海外展開に向けた調査・検証

奥出雲町では、独居高齢者を対象にしたテレビ電話による見守りシステムが稼働しています。孤独で不安な老後生活をコールセンターを中核とする“地域ぐるみ”のヒューマン・コミュニティが見守っていく新しい社会福祉システムです。

コールセンター

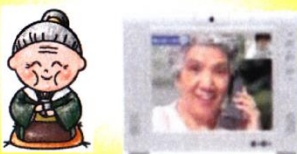
- ◆地域見守り（声掛け・相談・安否確認・緊急通報・要支援者情報管理）
- ◆生活支援（食配・日用生活用品宅配・告知放送・ごみ情報・バス電車時刻表・デジタル写真立て・町内電話帳・アンケート）
- ◆ヘルスケア（健康管理・保健指導）
- ◆在宅医療・介護支援（取組み検討中）



町外在住家族・支援者



独居高齢者



インターネット



保健師



介護施設
医療施設

医師



民生委員



老人
倶楽部

社会福祉
協議会



栄養
管理士



警察・消防

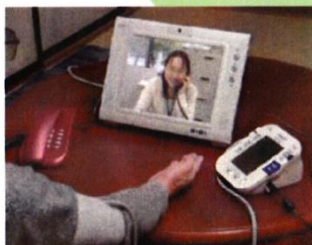


商工会
地元商店



学校給食会

CATV網



担い手不足の対策・効率運営
心の通う人的コミュニケーション
のプラットフォームを形成

I ICTリテラシーの向上 プロジェクト④

坂井市がICT利活用による高齢者の社会参画促進に向けた実証に参加（全国11ヶ所）



坂井市のICTリテラシーの向上講習会風景

- ・参加者 約100名
- ・三国図書館、高棕図書館、坂井図書館、ハートピア春江
- ・講習時間 12時間（3h×4回）
- ・平成26年12月～平成27年2月実施

高齢者がICT弱者から、ICTを駆使する「アクティブ・シニア」に！

プロジェクト⑤ 新たなワークスタイルの実現（テレワーク）

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○				○	○	○	○		○			○

企業の概要

社名	NTTアイティ株式会社	都道府県	神奈川県
業種	情報通信業	従業員数	227人
事業概要	情報通信分野におけるマルチメディア関連機器、応用システムの開発・販売		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	別途社内規程を制定
テレワーク対象者	全組織、全職種
実施者数	222人
実施日数	概ね週1日～2日程度

テレワークの導入・拡大の経緯

経営トップが推進を指揮し、**制度面**は人事・総務部門、**システム面**は情報システム部門、**運用面**は現場が担当することで、全社的に在宅勤務制度を推進している。あわせて、自社開発製品のリモートアクセス※1、プレゼンス機能※2等、テレワークソリューションツールを徹底活用している。

※1 **リモートアクセス**…自分が使用权を持つネットワークやコンピュータに、通信回線やインターネットなどを介して外部（遠隔地）から接続すること。

※2 **プレゼンス機能**…連絡を取りたい相手の状況を把握できる機能のこと。

テレワークの概要・特徴

在宅勤務制度は**全従業員が対象**であり、雇用形態、職種、役職等の制限は設けていない。原則、上限として月5日、営業日連続2日まで実施可能である。**育児期の従業員には在宅勤務制度の緊急利用や、私傷病等により出勤困難な従業員には在宅勤務制度の長期利用を認めるなど、柔軟に対応している。**

テレワークによる柔軟なワークライフ

在宅勤務を半日単位で取れるように柔軟性をもたせ、半日は自宅で勤務し、そのまま半日は**休暇**にもできるため、**育児、介護の対応時にも**、通勤時間をかけずに、半日は勤務を進めることが可能となる。業務効率化とともに、社員からも好評である。



テレワーク導入の効果（経営にもたらした効果、その他効果）

・場所を選ばずに迅速に業務遂行

PCのみならず、**タブレット、スマートフォン**により**会社PCを操作**できるため、電車での移動中、出張先でも簡単に決裁・承認処理も行なえ、より迅速な社内/顧客対応を推進している。インターネットさえ接続できれば海外出張先からも、通常業務が可能となり業務の停滞を防止している。

・客先での説明、プレゼンテーション時に威力を発揮

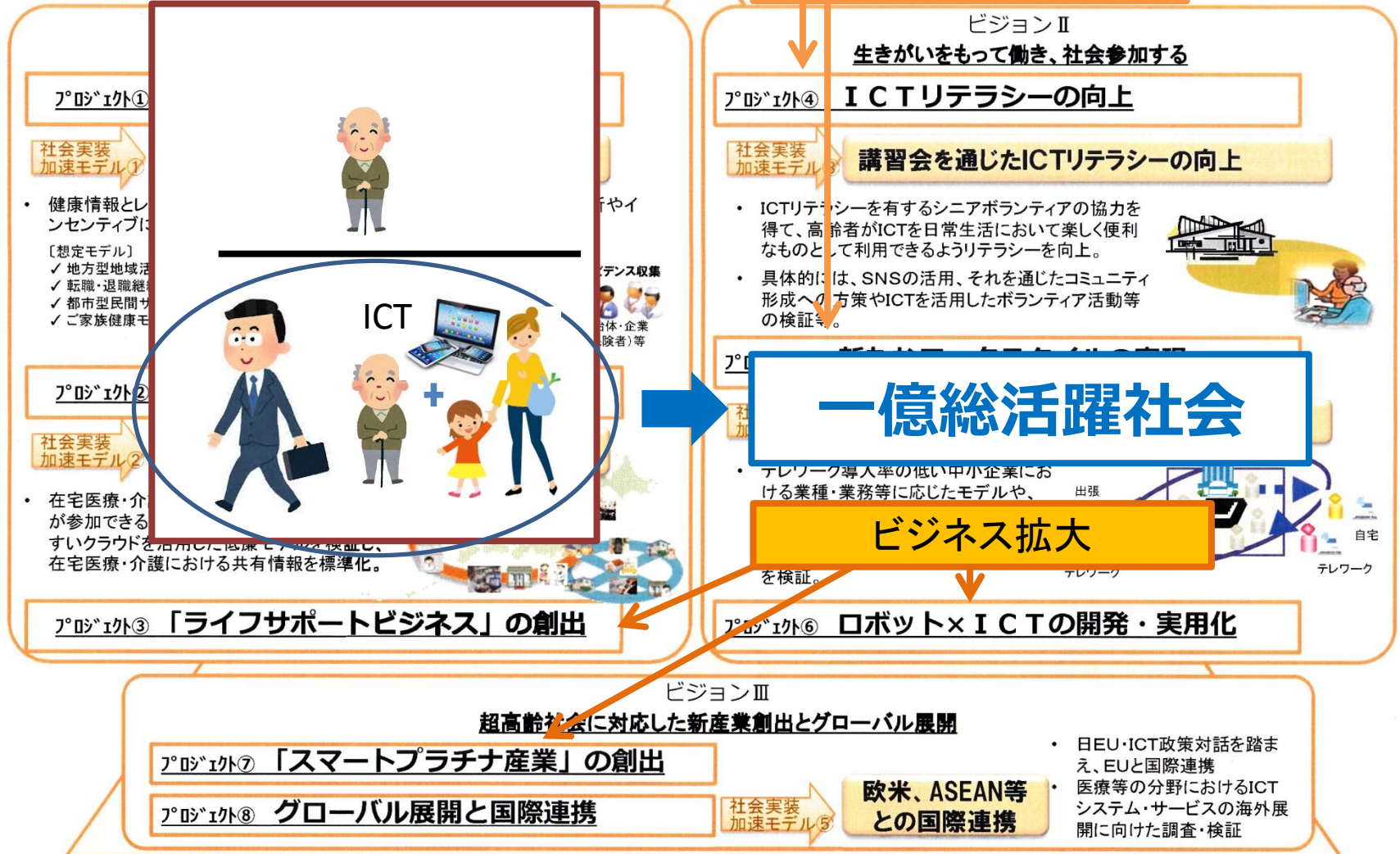
客先からも、安全に**社内データにアクセス**できるため、顧客との契約関連情報などの**機密情報を持ち歩かず**に、**閲覧、プレゼンテーション**が可能。複数顧客訪問時でも身軽に、安全に、重要商談を展開可能。



「スマートプラチナ社会」の実現に向けて(社会実装加速モデル)

- スマートプラチナ社会の実現を早期かつ着実に図るべく、スマートプラチナ社会の実装を加速させるモデル(社会実装加速モデル)を推進

生産年齢人口低減対策



総務省ICT街づくり実証事業 地域懇談会@三鷹
「ICTを活用した街づくり」

三鷹市コミュニティ創生プロジェクト

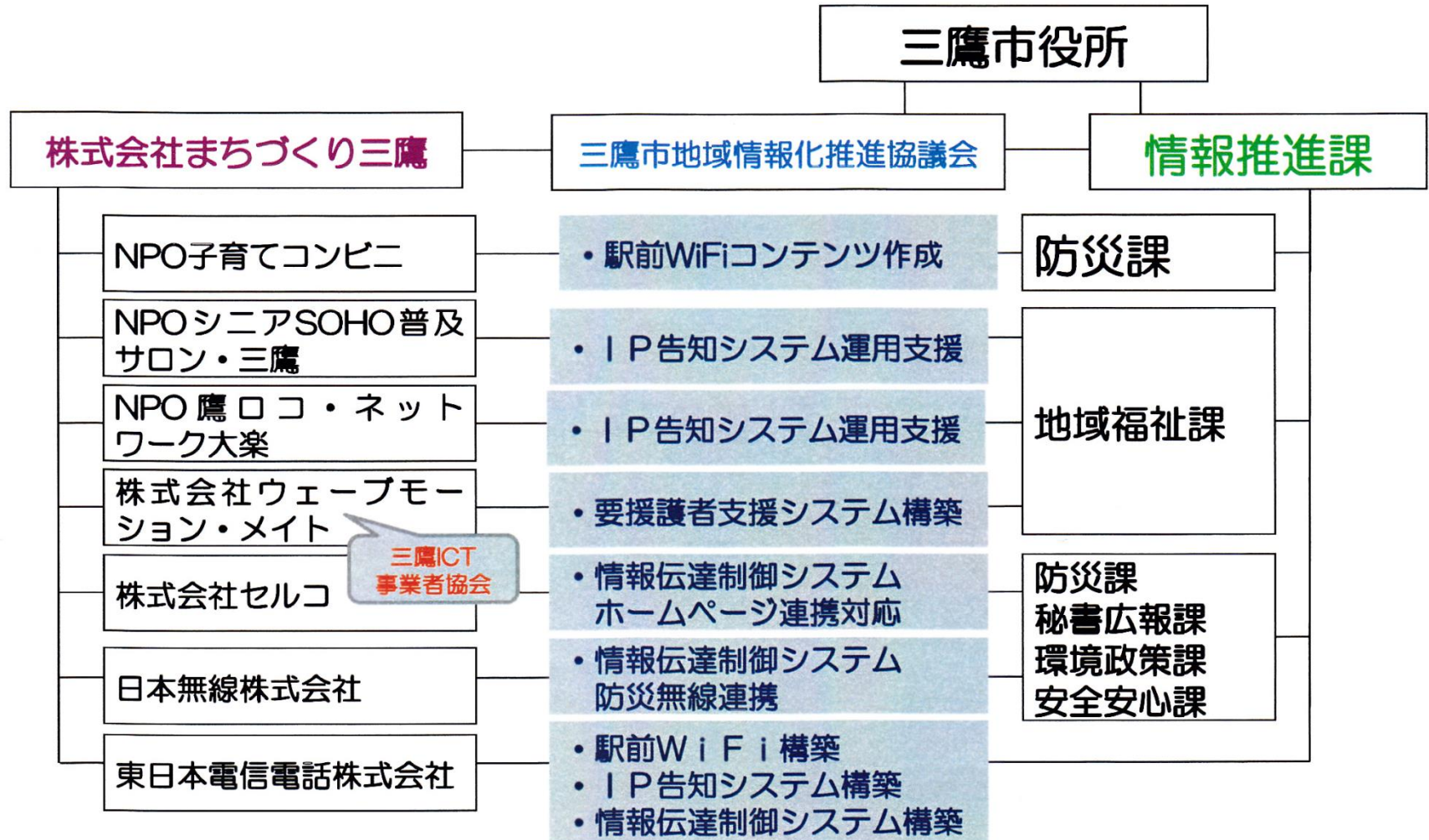
「人間の明日へのまち」づくりのために
ICTを活かし、協働を産み出し、
持続可能なコミュニティの創生を

平成25年5月29日

三鷹市長 清原 慶子

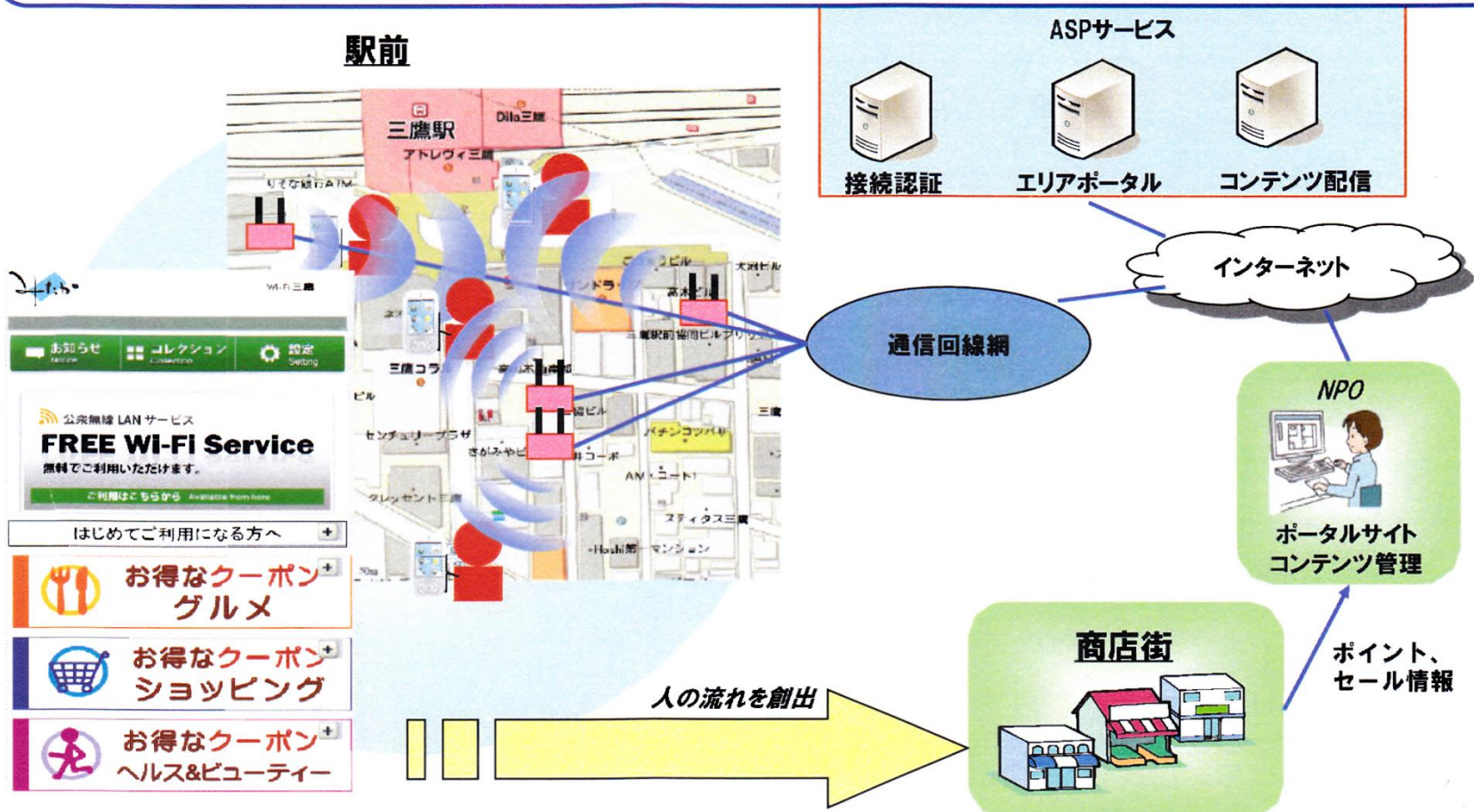


「民学産公の協働」による推進体制



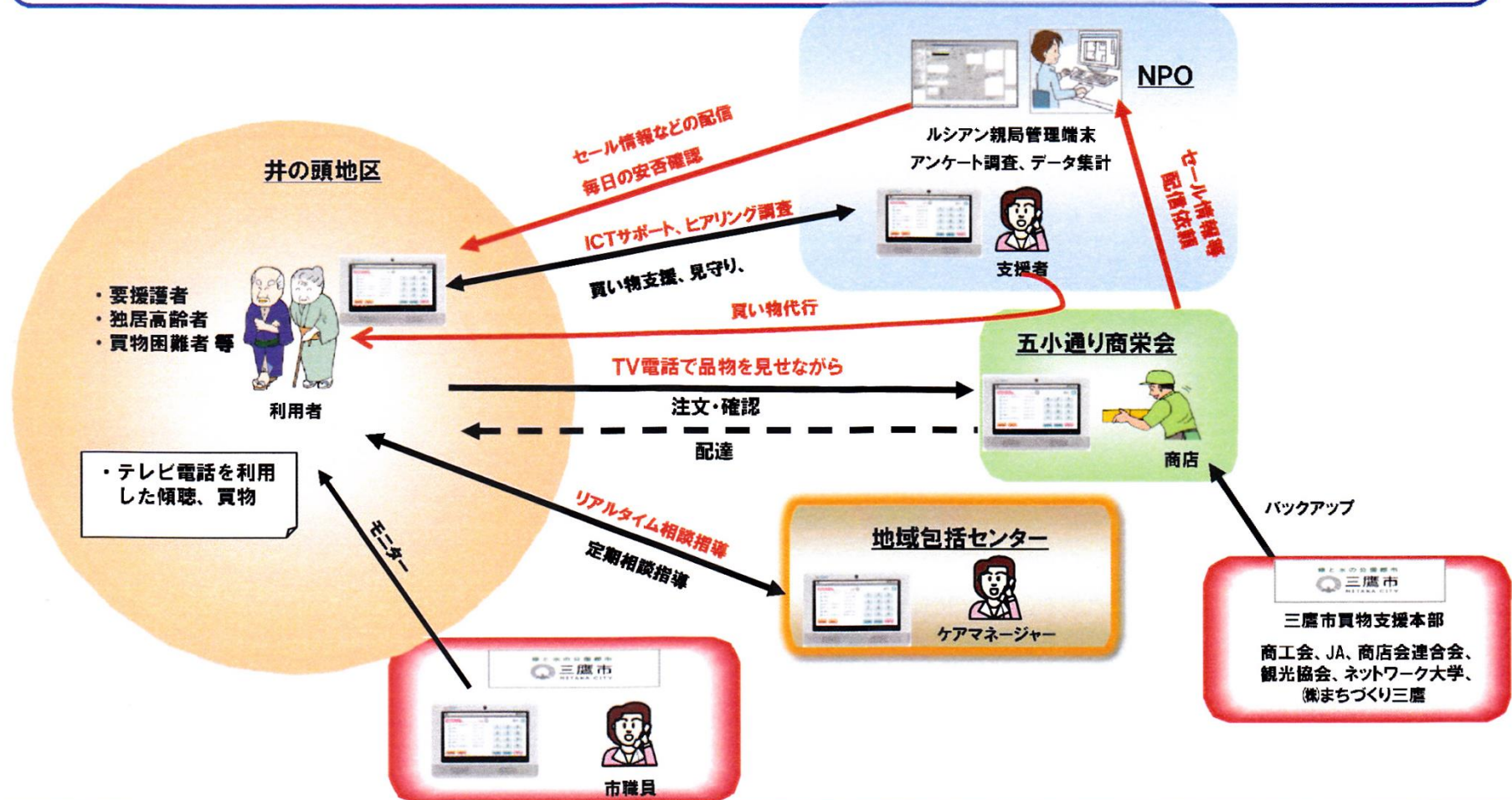
① 駅前Wi-Fi

- Wi-Fiサービスの提供エリアはJR中央線三鷹駅前
- 平常時の利用を基礎にして、災害時は情報流通のインフラとして活用
- コンテンツ管理はASPサービスを活用
- 商店街情報等を配信し、駅前から商店街への人の流れを創出



② IP告知システム平常時イメージ（買物支援・傾聴活動・見守り）

- IP告知端末のTV電話機能にて商品を注文
- 注文時のTV電話におけるコミュニケーションや配達を通して、見守りも実施



纏め

少子高齢化で現役世代激減し経済力が低下、
高齢者は増大し社会保障費は増大⇒財政悪化



今までの社会の仕組みでは、日本の国力は減衰



ICTを活用して、高齢者、女性が社会参加する
全員参加型社会に仕組みを変えて日本を活性化



スーパープラチナ社会（一億総活躍社会）

総纏め

超高齢社会の日本を元気にする
キーは、アクティブシニアが
スマートプラチナシニアとして
社会参加することである

独り言

1. 福井県の高齢者（約22万）が、1人でも多くアクティブシニアとして福井活性化に貢献するように、福井いきいき会の活動をホームページで発信しましょう。
2. スマートプラチナ社会に対応し、会員の安心・安全、コミュニティ維持にICTの勉強を進めましょう。